



**佐賀県内議会トップ10を公開 1位は嬉野市議会**  
**佐賀市議会、佐賀県議会が続く**  
「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月15日、2017年度「議会改革度調査」の佐賀県内ランキング上位を公開しました。

嬉野市は70位以上順位を上げて1位になりました。前年と同じく、県内2位の佐賀市までが全国トップ300に入る結果となりました。



▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>

▼佐賀県内の議会ランキングTOP10

※総合順位の300位以下、前年未回答は「-」と表記。 ※佐賀県内は16議会が回答(回答率76%)

県内順位	議会名	総合順位	総合前年比
1	嬉野市議会	50	+76
2	佐賀市議会	98	-19
3	佐賀県議会	-	-
4	鳥栖市議会	-	-
5	太良町議会	-	-
6	鹿島市議会	-	-
7	伊万里市議会	-	-
8	多久市議会	-	-
9	神埼市議会	-	-
10	唐津市議会	-	-

■TOP3議会、注目議会の特徴

- ・1位【嬉野市議会】市政に関する政策提案の協議を行う政策討論会を設置。「嬉野市文化の香り高い読書のまち活動推進条例」「嬉野市おもてなし条例」を議員提案にて制定した。
- ・2位【佐賀市議会】決算議案に対する附帯決議を行っている。タブレットを導入し、資料の電子化などICT化を推進。「議員と語ろう！議会報告会」を各地域で開催している。
- ・3位【佐賀県議会】「ふるさと佐賀への誇りを育む観光条例」を議員提案にて制定した。政務活動費は収支報告書をネット公開。タブレットを導入し、クラウドなどを活用している。
- ・4位【鳥栖市議会】政務活動費は領収書までネット公開している。議会報告会を開催(2018年度～「おしゃべりカフェ\*とす」として開催)。委員会の審査終了後に自由討議の場を設けている。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。

(回答率74%)。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◇ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>